

誘い出しの危険性

インターネット上のサービスでは、実生活の友人だけでなく、面識のない人とも気軽にコミュニケーションをとることができます。しかし、面識のない人との交流がトラブルを引き起こすケースも珍しくありません。そうしたトラブルのひとつが、誘い出しです。子どもたちが、インターネットで知り合った人から誘い出され、誘拐されたり、性的被害にあったりした事案も発生しています。

誘い出しの例

ここでひとつ、インターネット上の誘い出しの例を紹介したいと思います。

友人関係に悩んでいたB子は、SNSに悩みを投稿していました。するとある日、自分の投稿にD美という女性からメッセージが送られてきました。

自分の悩みを真剣に聞いてくれるD美のことをすっかり信用したB子は、D美に言われるままに自分の顔写真や住所などを送信しました。

しかし、ある日D美から遊びにいこうと誘われ、待ち合わせ場所に行くと、そこには知らない男の人が待っていたのです。



インターネット上のサービスには、子どもたちと出会い誘い出すことを目的としている悪意のある人もいます。そうした人物は、年齢や性別、顔写真などのプロフィールを偽っていることも多く、上記の例のように相手を信用して会いにいくと、プロフィールとはまったく別の人があらわれたというケースもあります。

なぜ、インターネット上でやりとりしただけで、面識のない人をそこまで信用してしまうことがあるのか、と疑問に思う方もいるかもしれません。

しかし、面識のない人とのインターネット上でのやりとりだからこそ、本音を言いやすいという子どもたちもいます。友だちにはなかなか打ち明けづらい悩みや、周囲にあまり理解してもらえない趣味のことなども、面識のない人とのインターネット上でのやりとりなら話やすく、普段人に言えないことを打ち明けているうちに、だんだん相手のことを信用していくということもあるのです。



インターネット上のサービスには誘い出しを目的とした悪意のある人物がいること、インターネット上ではプロフィールを簡単に偽れることを子どもたちに理解させ、どれだけ仲良くなったとしても、インターネットで知り合った人とは会わない、また自分の個人情報を教えないことを徹底するよう指導していくことが大切です。